



平成29年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月3日
上場取引所 東

上場会社名 日本フィルコン株式会社
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)名倉 宏之

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理・経営企画管掌 (氏名)齋藤 芳治

兼管理本部長

兼経営企画室長

(TEL)042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成29年7月5日 配当支払開始予定日 平成29年8月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第2四半期の連結業績(平成28年12月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第2四半期	14,144	5.3	998	11.4	1,029	11.2	1,632	98.9
28年11月期第2四半期	13,430	6.4	895	16.9	926	8.7	820	21.0

(注) 包括利益 29年11月期第2四半期 2,744百万円(400.5%) 28年11月期第2四半期 548百万円(△62.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第2四半期	73.81	—
28年11月期第2四半期	37.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第2四半期	37,752	19,784	51.7
28年11月期	36,129	17,218	46.9

(参考) 自己資本 29年11月期第2四半期 19,535百万円 28年11月期 16,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	7.00	—	9.00	16.00
29年11月期	—	5.00			
29年11月期(予想)			—	6.00	11.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年11月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 創立100周年記念配当2円00銭

3. 平成29年11月期の連結業績予想(平成28年12月1日～平成29年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	2.7	1,450	△23.5	1,550	△20.3	1,900	14.4	85.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年11月期2Q	22,167,211株	28年11月期	22,167,211株
29年11月期2Q	36,201株	28年11月期	72,491株
29年11月期2Q	22,115,883株	28年11月期2Q	21,955,441株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(28年11月期 36,400株、28年11月期第2四半期 123,700株)を含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を続けております。海外経済は、新興国の一部に弱さが残るものの、緩やかな成長が続いております。

このような状況のもと、当社グループは平成29年度から平成31年度までの3か年を対象とする「中期経営重点課題」および「カンパニービジョン」を策定し、各事業の特性に応じた施策を実施すべく努めました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高14,144百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は998百万円（前年同期比11.4%増）となりました。経常利益は1,029百万円（前年同期比11.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産計上による法人税等△614百万円の影響により1,632百万円（前年同期比98.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は以下の事業で構成されます。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
その他の産業分野	「ふるい分け」「ろ過」、「搬送」用の工業用金網の製造・販売
高機能吸着剤分野	金属吸着カートリッジフィルターやにおい吸着繊維の開発・販売

製紙製品分野では、国内売上高は前年同期並みとなりました。海外売上高は前年同期と比べ出荷数量が減少したことに加え、円高に推移したことから減少いたしました。

その他の産業分野では、石油採油用フィルターの販売が減少いたしました。食品業界向けを中心としたコンベヤーベルトの販売が増加したため売上高は前年同期並みとなりました。

高機能吸着剤分野の売上高は前年同期と比べ減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は8,834百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は退職給付費用の減少もあり980百万円（前年同期比11.5%増）となりました。一部の連結子会社は退職給付費用の算定に簡便法を採用しており、年金資産の運用が前年同期に比べ好調に推移したため退職給付費用が減少いたしました。

②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は以下の事業で構成されます。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体、ディスプレイ、プリント基板、MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターニングの原版となるフォトマスクの製造・販売
太陽光発電システム設備販売分野	太陽光発電部材の販売、太陽光発電システム設備の販売

エッチング加工製品分野では、製造設備の仕入販売に加え大型・中型タッチパネル製品が前期途中から量産開始したため売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

フォトマスク製品分野では、自動車産業用半導体向け、パワー半導体向け、MEMS関連等の非半導体向けへの積極的な拡販活動の結果、売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

太陽光発電システム設備販売分野では、売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は3,859百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は342百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は以下の事業で構成されます。

アクア事業	プール、ろ過装置の設計・販売
プロダクト事業	防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売

アクア事業では、前年同期と比べ主に受注金額の高い案件の完成引き渡し数が増加したため売上高が増加いたしました。

プロダクト事業は、前年同期並みとなりました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は931百万円（前年同期比28.6%増）、営業利益は34百万円（前年同期比67.9%増）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、当社が保有する不動産を店舗、マンション、駐車場等として賃貸しております。

当期は、前年に引き続き既存の賃貸物件が順調に稼働いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は519百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は389百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

（注）各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異748百万円（前年同期比8.7%増）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、18,600百万円となりました。これは主として、現金及び預金が485百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が141百万円、商品及び製品が199百万円、その他が185百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,540百万円増加し、19,151百万円となりました。これは主として、機械装置及び運搬具が170百万円、土地が251百万円、有形固定資産のその他に含めております建設仮勘定が520百万円、投資有価証券が331百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,622百万円増加し、37,752百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ714百万円減少し、10,980百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が161百万円、その他が521百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ229百万円減少し、6,987百万円となりました。これは主として、長期借入金532百万円増加した一方、その他に含めております繰延税金負債が732百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ943百万円減少し、17,967百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,566百万円増加し、19,784百万円となりました。これは主として、利益剰余金が1,433百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益1,632百万円、剰余金の配当199百万円）、その他有価証券評価差額金が221百万円、為替換算調整勘定が832百万円それぞれ増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ422百万円減少し、3,703百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,029百万円、減価償却費708百万円などにより、749百万円の収入(前第2四半期連結累計期間に比べ497百万円の収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,320百万円などにより1,426百万円の支出(前第2四半期連結累計期間に比べ943百万円の支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出754百万円などがありましたが、長期借入れによる収入1,100百万円などにより、58百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は214百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月3日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,196,755	3,711,447
受取手形及び売掛金	7,641,651	7,783,010
商品及び製品	3,065,363	3,264,399
仕掛品	1,844,424	1,828,546
原材料及び貯蔵品	1,161,219	1,183,726
その他	713,362	899,246
貸倒引当金	△104,483	△70,130
流動資産合計	18,518,292	18,600,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,609,810	4,630,121
機械装置及び運搬具(純額)	2,295,398	2,465,913
土地	4,025,861	4,277,591
その他(純額)	497,432	1,044,330
有形固定資産合計	11,428,503	12,417,956
無形固定資産		
のれん	578,790	564,947
その他	361,591	406,812
無形固定資産合計	940,381	971,759
投資その他の資産		
投資有価証券	3,207,107	3,538,752
リース投資資産	528,188	517,819
その他	1,515,717	1,713,049
貸倒引当金	△8,587	△7,502
投資その他の資産合計	5,242,426	5,762,119
固定資産合計	17,611,311	19,151,836
資産合計	36,129,603	37,752,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,756,367	3,819,232
短期借入金	3,160,602	3,081,802
1年内返済予定の長期借入金	1,175,934	1,014,055
未払法人税等	185,673	170,019
賞与引当金	67,270	68,698
その他	3,348,726	2,826,738
流動負債合計	11,694,573	10,980,546
固定負債		
長期借入金	4,061,082	4,593,794
退職給付に係る負債	177,641	189,303
長期預り敷金保証金	1,433,271	1,375,377
資産除去債務	106,275	105,295
環境対策引当金	133,800	137,440
その他	1,304,566	585,804
固定負債合計	7,216,637	6,987,015
負債合計	18,911,210	17,967,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	12,732,088	14,165,370
自己株式	△45,106	△28,644
株主資本合計	17,284,888	18,734,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	401,322	622,770
繰延ヘッジ損益	—	4,832
為替換算調整勘定	△749,287	82,943
退職給付に係る調整累計額	7,732	90,660
その他の包括利益累計額合計	△340,232	801,206
非支配株主持分	273,737	248,681
純資産合計	17,218,393	19,784,520
負債純資産合計	36,129,603	37,752,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
売上高	13,430,714	14,144,972
売上原価	8,637,106	9,115,657
売上総利益	4,793,607	5,029,315
販売費及び一般管理費	3,897,616	4,030,744
営業利益	895,991	998,570
営業外収益		
受取利息	3,157	2,232
受取配当金	14,801	13,807
持分法による投資利益	103,593	126,903
その他	52,250	101,553
営業外収益合計	173,802	244,496
営業外費用		
支払利息	46,324	41,665
為替差損	74,077	72,436
その他	23,368	99,634
営業外費用合計	143,770	213,737
経常利益	926,023	1,029,329
税金等調整前四半期純利益	926,023	1,029,329
法人税等	100,780	△614,834
四半期純利益	825,242	1,644,164
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,471	11,702
親会社株主に帰属する四半期純利益	820,771	1,632,462

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	825,242	1,644,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111,357	221,447
繰延ヘッジ損益	338	4,832
為替換算調整勘定	△173,873	695,365
退職給付に係る調整額	43,042	82,928
持分法適用会社に対する持分相当額	△35,037	95,634
その他の包括利益合計	△276,887	1,100,208
四半期包括利益	548,355	2,744,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	506,267	2,773,901
非支配株主に係る四半期包括利益	42,087	△29,528

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	926,023	1,029,329
減価償却費	629,269	708,196
のれん償却額	40,467	40,397
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,125	11,896
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,110	△45,545
受取利息及び受取配当金	△17,958	△16,039
支払利息	46,324	41,665
持分法による投資損益(△は益)	△103,593	△126,903
投資有価証券評価損益(△は益)	—	29,377
売上債権の増減額(△は増加)	△49,382	△30,731
たな卸資産の増減額(△は増加)	△456,627	△54,007
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	12,746	△33,852
仕入債務の増減額(△は減少)	△119,979	38,330
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14,483	△58,238
その他	512,125	△537,575
小計	1,398,946	996,298
利息及び配当金の受取額	17,921	16,151
利息の支払額	△44,095	△39,215
法人税等の支払額	△128,907	△232,075
法人税等の還付額	2,754	8,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,246,619	749,540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△433,496	△1,320,458
無形固定資産の取得による支出	△44,433	△75,171
長期預り敷金保証金の返還による支出	△73,035	△73,035
その他	68,586	42,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482,378	△1,426,134
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	84,162	△89,711
長期借入れによる収入	648,429	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△801,519	△754,159
配当金の支払額	△154,919	△199,180
その他	9,070	1,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,777	58,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63,955	195,684
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	485,509	△422,190
現金及び現金同等物の期首残高	2,900,861	4,125,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,386,370	3,703,082

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用し、最近の業績動向等を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において繰延税金資産を追加計上し、法人税等△614,834千円を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォトマスク 事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,863,760	3,328,370	723,971	514,611	13,430,714	—	13,430,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,117	590	636	—	2,344	△2,344	—
計	8,864,878	3,328,960	724,608	514,611	13,433,058	△2,344	13,430,714
セグメント利益	879,634	305,607	20,385	379,224	1,584,851	△688,860	895,991

(注) 1 セグメント利益の調整額△688,860千円は、内部取引にかかわる調整額△313千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△688,547千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォトマスク 事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,834,439	3,859,744	931,147	519,641	14,144,972	—	14,144,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,623	1,610	753	—	13,986	△13,986	—
計	8,846,063	3,861,354	931,900	519,641	14,158,959	△13,986	14,144,972
セグメント利益	980,630	342,570	34,227	389,666	1,747,094	△748,523	998,570

(注) 1 セグメント利益の調整額△748,523千円は、内部取引にかかわる調整額△3,552千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△744,970千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。